

定についてより日程第45、議案第12号 平成17年度長井市水道事業会計予算までの38件を一括上程いたしまして、市長の提案説明を受けることといたします。

議案の質疑は、議案数も多いことから関係するものをまとめて質疑を行い、一般議案16件につきましては、別紙付託表のとおり所管する委員会に付託して審査していただきます。

予算案22件につきましては、予算特別委員会を設置し、付託の上、審査していただきます。なお、本日、本会議終了後に予算特別委員会を開催し、補正予算の審査を行うことといたします。

請願6件につきましては、別紙付託表のとおり関係する常任委員会に付託の上、審査していただきます。

次に、市政一般に関する質問につきましては、議事日程第2号、第3号、第4号のとおり、3月8日、3月9日、3月10日の3日間といたします。なお、議事日程第2号の3月8日は、初めに平成16年度各会計補正予算を議決いただき、その後に一般質問を行うことといたします。

このたびは、会派代表質問、政党代表質問、個人質問の順となります。質問予定者は12名でありますので、第1日目5名、第2日目5名、第3日目2名と予定をいたしました。

また、会派代表質問に限り、同一会派所属議員の関連質問を持ち時間の範囲内で行うことができることとなっております。

なお、一般質問発言通告書は、質問内容・答弁者を具体的に記載の上、本日執務時間内に提出をお願いいたします。また、各会計補正予算の討論発言通告につきましても、本日執務時間内をお願いいたします。

常任委員会、予算特別委員会の日程につきましては、日程表のとおりであります。

新年度予算に対する総括質疑発言通告の締め切り日は3月14日とさせていただきます。また、

討論発言通告の締め切り日は3月23日とさせていただきます。

なお、最終日、本会議前に議会運営委員会を開催させていただきます。

以上、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。報告といたします。  
鈴木良雄議長 お諮りいたします。

今期定例会の会期は、ただいま議会運営委員長より報告がありまして、本日から24日までの21日間と決定し、会議日程につきましては、お手元に配付してあります平成17年第1回市議会定例会会議日程表のとおり決するにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

鈴木良雄議長 ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

### 日程第3 施政方針に関する説明

鈴木良雄議長 それでは、日程第3、施政方針に関する説明であります。

目黒栄樹市長。

(目黒栄樹市長登壇)

目黒栄樹市長 おはようございます。

平成17年第1回長井市議会定例会の開会に当たり、今議会にご提案申し上げております議案の説明に先立ち施政方針を申し上げ、市議会の皆様、市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。

初めに、「改革・前進・全員参加」の基本方針で進めてまいりました行財政改革の実施計画も、いよいよ本年が最後の年となり、行財政改革の仕上げをしっかりとやっていかなければならないと思っております。

おかげさまで、この6年余の間に一般会計及び特別会計の起債残高、債務負担行為等を含め

た総負債額は386億円から348億円、38億円、約10%の減となります。平成16年度の公債費は21億9,000万円でありましたが、平成17年度からは約15億6,000万円程度に推移する予定でありまして、単年度で6億3,000万円、約30%の減となります。

職員数につきましても、400名から338名に削減していく予定でありまして、62名、約15%の減となります。人件費は、29億6,000万円から約24億8,000万円、約4億8,000万円、16%の減となります。

このように、数字上でもはっきりと具体的な成果があらわれてきました。これは、県内44市町村でトップであると思っておりますし、全国でもトップクラスであると自負をしております。これは、言うまでもなく市民の皆様のご協力、議会の皆様のご協力、職員の皆様のご協力があったからだと思います。

「協働・創造・未来の鼓動 実感“ながい”」の基本構想にのっとりながら、ことしが長井のここ10年ぐらいいあるべき姿や夢を語り、まちづくりを順次進めていく年にしたいと思っております。

また、「三位一体の改革」が国と地方自治体で論議をされております。権限や財源が具体的に地方に移管されることは戦後初めてでありまして、私は評価すべき点が多いと思っております。この改革の動きを加速させ、しっかりと定着させ、地方分権、地方主権と言われるようなあるべき地域社会をつくらなければならないと思っております。私は、国や県に対しても、長井市や地方の立場を積極的に主張しながら、多くの課題に対して発言を強めていきたいと思っております。

昨年度の世界と日本は災害にさいなまれた年でありました。日本では、台風が10個も上陸し、風水害の被害は甚大なものでありました。10月23日の新潟中越大震災は、阪神淡路大震災を上

回る規模で、被災された方々には心からお見舞いを申し上げたいと思います。

市民の皆さんにも、400万円を超える多額の義援金あるいは救援物資をいただくとともに、ボランティアとして素早く現地に赴いていただくなど、心から御礼を申し上げます。

12月26日に発生しましたスマトラ島沖地震はマグニチュード9.0という巨大地震で、大津波に巻き込まれたインド洋沿岸の観光地等はまさに言語に絶するひどい惨状でした。

このような国内外の被災地の皆様が一日も早く安心した生活に戻れるよう願っております。

7月17日には長井市におきましても豪雨に見舞われ、31年ぶりに災害対策本部を設置し、市民の皆様と職員が一体となって対処してまいりました。伊佐沢の一部や西根の皆さんにはそれぞれに被害を受けて大変だったと思いますが、幸いも人命にかかわる問題には至らず、今後も防災対策や災害対策を補強しながら備えることの大切さを痛感した年でもありました。

長井市は、昨年、市制施行50周年を迎え、市民の皆さん総参加による記念事業を立派に行うことができました。2日間にわたる黒獅子まつりや、一段と豪華になった花火を中心とする水まつりでは、市内外から約20万人近い人出がありました。小林幸子さん、鳥羽一郎さんらが出演したNHKラジオ「昼の散歩道」の公開放送も盛況でありましたし、市内の二つの企業から大きなご支援をいただき、昼夜2回にわたった「島津亜矢ショー」には、2回で約1,500名、3万市民の都市にしては約5%の皆さんに楽しんでいただけるといふ立派なものでありました。

10月17日の市民の皆さんとともに「第九をうたおう」は、指揮者の小林研一郎氏によれば「地方での第九のできればとしては特筆すべきものではないか」と高い評価を受け、ご指導をいただきました酒井敦先生のホームページの「まえすとり日記」に紹介されるほどで、まさ

に市民の皆さんの頑張りによりすばらしい第九コンサートとなりました。80歳以上の方が13人もおられ、いわば老年、中年、青年の三結合、老・中・青の三結合ですべての年齢の皆さんからご参加をいただき、すばらしいできばえで、長井の芸術レベルの高さを示したものだと思います。

また、長井まちづくりNPOセンターを中心に、地域の皆さんや山形工科短期大学など多くの皆さんが結集した「横丁アートセッション in 登城まち」は、ゴスペルと人力車で演出された秋空ウェディング、近代建築写真展、致芳小学校の獅子踊り、そして幻想的な「灯りの回廊」など従来にない発想で、見る人も参加した人もあきさせない、まさに民間の皆さんが頑張ったイベントでありました。

11月3日の記念式典では、我が長井市が誇る宇治紫文さんの朗々たる「寿三番叟」の演奏に始まり、南中の大泉佳菜さんと北中の高橋梓さんの意見発表には、「長井の若者もすごいものだ」という感嘆の声が上がりました。伊佐沢小学校の念仏踊りは伝統芸能として艶やかでありました。あやめ太鼓の若い皆さんの演奏は迫力がありました。姉妹都市パートナーゼッキンゲン市訪問団による西洋ダンスは華麗でした。11月4日の子ども将棋大会は、米長邦雄さんから高い評価をいただき、将棋を楽しむ機会をふやし、多くの人に広めていかなければならないと思いました。

年末にかけて盛り上がってきたのが、フラワー長井線をなくすなという高校生を中心にPTAを巻き込んだ市民の存続運動であります。署名運動、学校での討議、そして意見発表、さらには約850名の支援コンサートが催され、フラワー長井線の重要性が改めて認識されました。長井市議会の全員の皆さんも、置賜地域の各議会に山形鉄道株式会社への財政支援の必要性を働きかけられ、県知事にも要望をしていただき

ました。県知事から、新たな枠組みで今後も行政が財政支援をしていくという約束を取りつけたことは、大きな成果だったと思っております。

市内のNPO法人は、新たに長井まちづくりNPOセンターを初め、レインボープラン市民農場、さわやかサービス、急速冷凍技術のくうえんたい長井が認証され、これまでの福祉を中心としたNPO法人などと合わせると七つになりました。その多彩な活動はこれまでにない新しい活動で、長井のまちづくりの雰囲気徐徐にはありますが変えていく大きな力ではないかと思っております。

「まちづくりは、若者、よそ者、ばか者が一生懸命にならなければ」と言われておりますが、青年会議所の地域課題に対応した活発な活動、商工会議所青年部の「黒牛のすねかじり出羽ぎゅう汁」の2年連続鍋将軍の獲得、山形工科短期大学の活発なボランティアや製作活動、さらには、各青年団体が集まった青年団体連絡協議会に見られる青年組織の横の連携など、若者の元気な姿はこれからのまちづくりの担い手として大変に心強いと思っております。

次に、市政運営の考え方について申し上げます。

市政運営の基本的な考え方のまず第一は、これまでの行財政改革の総仕上げと次の改革を見据えた基礎固めの1年にしたいと思っております。

昨年の4月から、学校給食共同調理場の搬送業務だけではなくて、調理業務と一部の維持業務についても民間委託を実践し、「給食がおいしくなった」という声が多く聞かれております。また経費につきましても、2億円かかっていた共同調理業務が1億1,000万円となり、9,000万円、約45%削減することができました。

また、さきの12月定例会におきましては、はなぞの保育園の保育業務を社会福祉協議会へ移

管することを議会でもご理解いただき、約20人弱の臨時保育士の皆さんは、公平な試験を受け社会福祉協議会に採用されました。社会福祉協議会に保育業務を移管することは、今後約70名の雇用が民間に生まれることであり、行政にとっても補助金が急激に減る中で健全化に向けた展望が開けてきたものだと思っております。

さらに、なかなか進まない国の公務員制度改革の中で、庁内の給与制度改革プロジェクトチームにより、適切な職務職階制度の導入とこれらによる給与制度改革を柱とした報告をいただきました。一挙に全面的には言えませんが、着実に行財政改革に資し、若い職員の皆さんにも配慮をしながら、やる気のある職員の皆さんをしっかりと処遇していく方法ができつつあると思っております。

今後10年間を見据えた民間委託を進めるべく、志木市や太田市の先進事例を学び、平成18年度から厳しい中でも安定した財政運営ができるよう自立計画を策定してまいりたいと思います。民間委託を進めることで10年後には職員は200名体制にしていくことが可能になり、市民の皆さんからいただいた税金を、人件費を切り詰めながらも必要なサービスに充てるというスリムな行政の姿が見えてまいります。

もう一つの市政運営の大きな柱は、第4次基本構想「協働・創造・未来の鼓動 実感“ながい”」の推進であります。それは、これから10年の夢を市民の皆さんとともに語ることであり、夢を描くことであり、夢を具体化することでもあります。

旧西置賜郡役所の管理運営業務の一部をNPO法人等をお願いし、自主的でアイデア豊かに多彩な活動を、地域住民、青年会議所、商工会議所青年部や山形工科短期大学の若い皆さんと一緒に取り組んでいただきたいと思います。現在、青年会議所を中心に構想が練られております巨大な壁画づくりも、地域の人々から愛さ

れ、そして長井の新たな宝となるよう支援をしてまいりたいと思います。

また、水と緑と花のながいにふさわしい「美しい花のまち、水のまち、そして楽しい賑わいのあるまち」にしたいと思います。

長井ダム周辺環境整備では、単なるスキー場や箱物整備だけではなく、山頂は花畑やゆっくりにあずまやがある眺望広場を設けて、おもしろくて楽しいスキー場の通年利用ができるようにしていきたいと思います。また、まちなかの水路を四ツ谷の花街道のように花で飾り、ふだんの生活に川辺の豊かさや安らぎが実感できるようにしていきたいと思います。

最上川フットパス構想では、河井地区にあずまやを初め散策道、もぐり橋、さらには270本の桜、そしてカヌーの発着所等を整備し、カヌーを楽しみながら「川から故郷を見る」という、長井のリバーツーリズムの芽を育てていきたいと思っています。最上川両岸は、桜、あやめ、つつじだけではなく、春は菜の花、夏はラベンダー、秋はコスモス等がところどころに咲いているような「きれいなまち、美しいまち 花の長井」を皆さんとともにつくっていききたいと思います。

また、若い皆さんの自発的な活動によって楽しめるイベントをつくり、参加する一人ひとりが役割を担い、そして多くの人を巻き込み、市民の皆さんが参加をし楽しむ、そんなおもしろくて楽しいまちにしていきたいと思っています。

今、長井はそういう機運が盛り上がってきていると思います。これからどんどん伸ばしていく、そして各種の夢を実現していくというのが私の大きな夢であり、一つ一つを着実にかなえていきたいと思っています。

まちづくり施策の推進につきましては、平成17年度に取り組む主なまちづくりの施策について、第4次基本計画に沿ってその概要をご説明申し上げます。

まず、市民が能力を発揮できるまちにするために、市内七つのNPO法人の皆さんや地域で活躍しておられるボランティアの皆さん、各種グループの皆さんなどと市民の皆さんと一緒にまちづくりに取り組み、そして市民の皆さん一人ひとりが持っている能力を発揮していただく「協働」のまちづくりを進めてまいります。市民と行政の新しいパートナーシップづくりを目指し、「協働」のまちづくりの推進項目である市民参画のルールや方策などから構成されるまちづくり基本条例を制定してまいります。新しい試みとして、これまでの条例形成過程に、「住民への公開、住民の皆さんへの議論、住民の提言」等を取り入れてまいりたいと思います。

男女の固定的な役割分担意識をなくして、互いに社会の中で責任を担い、喜びを分かち合う男女共同参画社会の形成を推進してまいります。昨年からの推進計画の策定に向けて審議会の皆様の多方面からの議論をいただいております。長井の特色を踏まえた内容に取りまとめでいただけるものと期待をしております。

さらに、昨年、市制50周年記念式典にご出席いただきました中国双鴨山市から研修生を受け入れ、両市の産業、文化の交流を進めてまいりたいと思います。

次に、新しい価値をつくり出す活力のあるまちをつくるために、産業の振興と雇用の拡大はまちの発展の基本であります。長井は、山形県内でも製造業が集積し、本社機能を持った企業も多く、産業と雇用が発達したまちであります。しかしながら、景気の低迷及び経済活動の国際化、ボーダーレス化等により市内の企業は厳しい環境の中にあり、マルコン電子はケミコン山形に変わり競争力の強化を図ろうとしておられます。また、厳しいイストラを経て新たな分野に取り組み、飛躍を目指す企業もあります。

私は、「民間が主役、行政はサポートする」

という基本姿勢のもとで、商工会議所を中心に企業の皆さんがしっかりと連携して取り組む産業の活性化をできるだけ支援してまいりたいと思っております。

若手技術者約10名によって始められましたロボットづくりは、平成17年度にはロボットによる格闘技「ロボワン」への参戦が予定されており、部品や装置に地域を越えた注目や評価を得つつあります。技術の集積やわかりやすいイメージづくりを支援することで、ものづくりのまち長井をリードする存在になってほしいと思っております。

また、商工会議所、地場産業振興センター、西置賜工業会の連携による西置賜製造業強化事業とものづくりコミュニティ推進事業では、山形大学工学部、東北芸術工科大学、芝浦工業大学からの協力を得て、市内企業の技術の高度化、開発力の強化への取り組みを県とともに支援してまいりたいと思います。

農業分野では、みずから生産する新鮮な野菜や果物等に自分で値段をつけ、そして消費者に買っていただく伊佐沢の直売所は、5年目で5,000万円を超える売り上げにまで伸びてまいりました。農業生産法人有限会社歌丸の里では、米、大豆、肉牛を組み合わせると1,000万円を超える所得を上げる農家の皆さんが出てまいりました。各地に畜産や花、果物、野菜、ホップ等でしっかりとした経営を安定させる自立した担い手農業者の皆さんの動きがはっきりと目に見えるようになってきたことは、うれしいことであります。

時庭地区で取り組んでおります大規模ほ場整備事業におきましても、担い手農業者や農業法人の自立的な農業経営を支援してまいります。生産者の高齢化が進む中で、遊休荒廃農地等を有効に利用するため、他の業界分野からの進出する企業をも受け入れていく「食の安全安心＝レインボープラン特区」による農業の活性化に

も取り組んでまいりたいと思います。それは、減農薬等の環境保全型農業と生ごみの堆肥あるいはバーク堆肥、さらに畜産堆肥等を農地、土に還元していく循環型農業を実践し、生産者の顔が見える安全安心な農産物を消費者に提供するレインボープランの輪を生産者と消費者が一緒になって長井市全体のブランドとして育てていくことでもあります。

商業の振興、特に中心商店街の振興につきましても、本町・中央まちづくり協議会が発足し、街路事業等の導入を念頭に置きながら、みずからのまちをみずからの知恵とアイデアでつくっていこうという動きが本格化してまいりました。立ち寄る人々が喜び、住んでいる人が愛着を持って暮らせる中心市街地づくりに、商工会議所と一体となって景観、インフラ整備、ソフト事業、店舗構成等の分野について検討を重ねてまいります。

長井市にとって観光も大きなまちづくりの目玉になります。私の夢でもある「水と緑と花の美しいまち 長井」をつくるために、四季折々の花が咲き誇る風景を大切にし、さらに桜回廊、黒獅子まつり、水まつりなどの多彩なイベントに彩りを添えてまいりたいと思います。そして、フラワー長井線を利用して全国からおいでになる皆さんや地域の皆さんにも楽しんでもらいたいと思います。

また、観光ボランティアの皆さんからは「わがまちの観光カリスマ」を何名かご推薦いただき、長井にいらっしゃった皆さんを「おもてなしの心」でご案内をしていただきたいと思います。長井の歴史や文化、まちなみの色、音、空気、明かりといった独自資源を全国に発信し、多くの皆さんにおいでをいただき楽しんでいただき、他の地域に引けをとらない「おもてなしの観光」を目指してまいります。

地場産業振興センターでは、市内の物産を積極的に市外へも情報発信をし、販売をしていく

とともに、平成17年度も引き続き長井のお客様、お得意様を獲得するための事業に取り組んでまいります。さらに、地場産業振興センターがより快適で使いやすい施設として皆さんにご利用いただけるように、山形県や商工会議所とともに館内の改修を支援してまいります。

映画「スウィングガールズ」の矢口監督は、フラワー長井線沿線の景観や車窓からの風景は全国で最も美しい地方鉄道ではないかとおっしゃっていただきました。テレビドラマ化あるいはCMのロケ地になるようなフィルムコミッションも考えていきたいと思います。

自然と調和した美しい環境のまちをつくるために、地球環境を守り美しいまちをつくるという視点に立って、平成9年度に策定をいたしました環境基本計画の基本理念であります「循環、共生、協働」を継承し、より具体的でわかりやすいスタイルをとり、実現性を高めた第2次環境基本計画を策定してまいります。また、ISO14001を実践し、レインボープランの精神に学びながら環境負荷の少ない循環型社会の形成に取り組み、循環のまちづくりを進めてまいります。

11月20日に開かれた少年議会におきまして、「ごみ拾いウォークラリー」等の提案がありました。ボランティア活動の体験から、美しい長井をつくるための貴重な意見であります。ポイ捨て等防止条例が施行され、啓発活動を繰り広げてまいりましたが、ことしは美しいまち、きれいな水のまちを目指し、市民の皆さんと一緒に、市街地で一斉に清掃作業や最上川フットパスルート沿いの水路周辺を美化推進重点地区として指定することを検討し、環境保全、景観保全に取り組んでまいります。

長井市は比較的災害が少ない地域であります。が、市民の皆さんも行政もいざというときの備えを整えておく必要があります。災害協定に基づき他の自治体とスクラムを組んでいくとともに

に、水害などの災害に対し危険なところを地図上に示すハザードマップの検討を進めてまいります。また、市民の皆様様の自主防災組織も大切でありまして、女性の皆さんにも参画をしていただく組織も強化していきたいと思っております。そして、そのことにご支援をしていきたいと思っております。

次に、「長井の心」を育む文教のまちをつくるために、教育は「長井の心」を育むことが重要であります。その一つである「生きる力」、中でも「思いやり」そして「心の基本軸」を育む必要性が叫ばれております。よいことなのか悪いことなのかの正邪の区別を身につけること、先輩・同輩・後輩という人と人とのつながりを基本に学ぶこと、自我を確立しながら広い世界の中での自分の位置関係を認識していくこと、志を立てて使命感を持ちながら地域社会で役割を果たしていくことなど、成長段階に応じた一人ひとりの心を育てていくことが大切であります。「長井の心」に表されている故郷の風景、風俗、習慣、そして自然を上手に学習していくことでもあると思っております。

また、基礎的学力、特に読解力が低下してきているという事実を真剣に受けとめ、小さいころからの本の読み聞かせや読書の習慣づけ、読書の楽しさや想像の世界のおもしろさを実感できるような教育をしてまいりたいと思っております。図書館の閉館時間や休館日について見直しを行い、暑い季節は涼しいところで親子が本を読む、そして読書のすばらしさが実感できるような図書館を目指してまいりたいと思っております。

グラウンドゴルフやサッカー、地域イベントなどに使用されている成田河川敷グラウンドについて、トイレを新設し衛生環境を整備してまいりたいと思っております。また、伊佐沢地区の懸案でありました地区公民館の建設につきましても、一歩踏み込んだ検討を進め、さらに久保ザクラにつきましてもできる限り樹木の保護を行って

まいりたいと思っております。

次に、個性が輝き支え合い安心して暮らせるまちをつくるために、昨年、年金問題で国論が大きく割れましたが、年金、医療、介護の大きな枠組みは国でこれから議論されるわけでありましたが、地方からも「ここはこうすべきだ、こういう方法もあるのではないか、こういう考え方があつぞ」というような提言を行ってまいりたいと思っております。そして何よりも、よい社会というのはチャンスが平等で流した汗が報われる社会でありますし、もう一つは、セーフティネットのある社会であります。福祉や医療、介護等で弱い立場にある人にも、温かい安心が届けられるような社会づくりのために努力をしてまいります。

市内には複数の民間医療施設の立地が進められ、長井病院の経営が苦しくなるのではないかとこの声を聞くときがあります。しかし、市民の皆さんから見れば、一次医療が充実することはその地域にとってよい社会、安全な社会でありまして、素直に歓迎し協力をしていきながら、むしろ三次医療や救急医療が格段によくなってきた中で、一次医療や地域医療に対して公的医療がどうあるべきかを考えていきたいと思っております。

平成18年度の介護保険制度の見直しは、制度全体を「予防重視型システム」へ転換していく方向性が示されておりますが、長井市では先行して介護予防を推進し、新年度から「高齢者筋力向上トレーニング事業」を実施してまいります。また、認知症（痴呆）介護や地域ケアを推進する地域密着型サービスについても、その導入を検討してまいります。

快適で住みよいまちをつくるために、長井ダム周辺環境整備につきましても、道照寺平コミュニティセンターの建設に着手をしてまいります。四季を通して大自然を舞台に、地域の皆さんや市内外の皆さんが「学び・楽しみ・ふれあ

う」集いと交流の場にしていきたいと思っております。

新潟山形南部連絡道路は、新潟圏域との産業や生活分野の連携を強める地域連携軸であり、高速交通網から外れている長井市にとっても唯一計画されている高規格道路であります。長井南陽間の整備区間昇格を強く要望してまいりたいと思っております。

米沢長井間を規格の高い道路で結ぶことは、置賜地域の活性化や南東北圏域との交流を進める上で重要であります。長井南バイパスルートに計画されている第二白川橋についても、早期架橋の期成運動を地元の皆様とともに取り組んでまいりたいと思っております。

国道287号森バイパスにつきましては、事業促進に取り組み、村山圏域へのアクセスも強化してまいりたいと思っております。

整備がおくれておりました大沢線、花作平山線あるいは大屋敷2号線などの市道改良、木蓮川の改修、あやめ公園駅などの駅周辺環境整備など、社会基盤の整備につきまして地域の皆さんと手を携えて取り組んでまいりたいと思っております。フラワー長井線の運営につきましては、山形鉄道株式会社の経営改善計画に基づき、中期的・長期的な視点に立ち、県当局と沿線自治体による財政支援が実行できるように早急に取り組んでまいります。

川原沢・草岡・五十川地区などの特定環境保全公共下水道事業につきましては、早い段階での事業認可と同時に工事着工を実施してまいりたいと思っております。また、浄化槽市町村整備推進事業につきましても、市民のご要望をかなえられるよう特定環境保全公共下水道事業と同一歩調で取り組んでまいりたいと思っております。

市民文化会館や地場産業振興センター内などにおいてになる皆さんの駐車スペースを充実させるために、松ヶ池公園多目的広場を整備してまいりたいと思っております。また、昨年から取り組

んでおります旧西置賜郡役所周辺整備事業につきましても、市民の皆さんの議論を継続させながら、構想からまちづくりにステップアップさせてまいります。さらに、長井駅周辺や駅前通りのまちなかの景観づくりをスタートさせてまいりたいと思っております。

次に、このたびご提案してあります17年度予算案の概要についてご説明を申し上げます。

国の平成17年度予算編成に当たりましては、2010年代初頭における基礎的財政収支の黒字化を念頭に置きつつ、構造改革を一層進めるために「改革断行予算」という基本路線を継続し、一般会計及び一般歳出の水準について、実質的に前年度水準以下に抑制してまいりました従来の歳出改革路線を堅持・強化するとしております。このような基本的な考え方に基づいて編成された平成17年度一般会計予算の規模は、前年度比720億円、0.1%増の82兆1,829億円となっております。

また、地方財政対策におきましては、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が回復傾向にある中で、公債費が高い水準で推移することや社会保障関係経費の自然増などにより、依然として大幅な財源不足が見込まれるものとされており、このため、地方財政計画の歳出におきましては、「基本方針2003」などに沿って国の歳出予算と歩を一にして見直すとともに、中期的な目標のもとで定員の計画的な削減などによる給与関係経費の抑制や地方単独事業費の抑制を図り、これらを通じて地方財政計画の規模の抑制に努めることにより財源不足額の圧縮を図る一方で、国と地方の信頼関係を維持しながら「三位一体の改革」を着実に推進するため、安定的な財政運営に必要な地方交付税などの一般財源を確保することを基本として地方財政対策を講じるとされております。

長井市におきましても、このような国の方針を踏まえながら、平成13年度から取り組んでお



ります行財政改革の推進を基本に、財政の健全化がより確かなものとなるように配慮しながら、市民の皆様の福祉の後退にならないよう留意して予算編成に当たってまいりました。

一般会計からご説明を申し上げますと、歳入におきましては、市税のうち個人分及び法人分の市民税が大幅に減少する見込みとなり、市税全体で2.2%の減となったほか、地方交付税は、前年度当初予算との比較では7.4%の増となったものの、決算見込額との比較では1.1%の減となっております。臨時財政対策債につきましても26.4%の減となるなど、主な一般財源が依然として減少傾向にあり、財政調整基金及び減債基金を取り崩して財源不足を補てんしたところであります。

一方、歳出におきましては、行財政改革の推進を前提に予算編成に当たったところでありますが、市民サービスが低下することのないように十分に配慮し、可能な限りの施策を措置いたしました。

この結果、平成17年度一般会計予算は、前年度比2.0%減の105億4,500万円となったところでございますが、平成16年度の減税補てん債の借換えによる一括償還分4億6,290万円を除きますと2.3%の増となっております。

また、特別会計予算につきましては、平成17年度から実施をいたします市設置型浄化槽の設置管理事業に係る浄化槽事業特別会計及び土地開発公社の経営健全化計画に基づく運動公園整備事業用地取得に係る用地特別会計の新設などにより、10の特別会計の合計では前年度比4.4%の増となっております。

長井市では、平成18年度以降の持続可能な財政運営に向けて、平成17年度中に新たな財政計画を策定する予定となっております。今後ますます厳しい財政運営が強いられることになると思いますので、議員の皆様を初め市民の皆様のご理解とご協力をお願いを申し上げます。

各予算案の詳細につきましては、議事日程に従い、後日関係課長からご説明をいたしますので、よろしくご審議賜りますようお願いを申し上げます。

結びとして、市制50周年記念式典におきまして、長井北中の高橋梓さんから「私は将来、この長井に住みたいと思っております。(中略)長井がもっともっとすてきなまちになるように願い、いつかそのお手伝いができる市民の一人になれるように、私は自分を磨いていこうと思います」という意見発表がありました。長井を人一倍愛する心、長井をつくっていこうとする意気込みは、まことにすばらしいものと感動しました。また、Uターンをなさった女性の方から、「自分が育った環境は、山が見えたり、川が見えたり、自然があって、家族みんなで楽しんだり遊んだりしながら暮らせるところで、住むこと、仕事をする、暮らしていくことが人間らしいなあと感じていました。結婚して夫婦だけで暮らすのは都会でも構わなかったのですが、子供を育て、人間として、母親として生きていくにどうしたらいいかと思ったときに、やはり東京ではこのまま生きていくことは何だか淋しいなあと感じ、こちらに戻ってまいりました」という、理屈抜きで長井のよさが伝わる、そしてうなずけるお話をお聞きしました。

私は、今、長井市が持っているよさを全国に、そして世界に発信していきたいと思っております。何といたっても地域を大事にし、日本や世界に誇り得るような長井市にするために、時代の風を的確に読み、夢を語り、志を述べ、使命感をもってまちづくりに全力を挙げていきたいと思っております。

市議会議員の皆様、市民の皆様、多くの皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願いを申し上げ、平成17年度の施政方針とさせていただきます。ありがとうございました。

鈴木良雄議長 施政方針に関する説明が終わり

ました。

ここで、暫時休憩いたします。

なお、再開は11時10分といたします。

午前10時58分 休憩

午前11時10分 再開

鈴木良雄議長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

#### 日程第4 報告第1号 寄附採納の報告について

鈴木良雄議長 日程第4、報告第1号 寄附採納の報告についての1件を議題といたします。

報告を受けることといたします。

目黒栄樹市長。

(目黒栄樹市長登壇)

目黒栄樹市長 報告第1号 寄附採納の報告についてご報告を申し上げます。

内容につきましてはお手元の報告のとおりでございます。平成16年中に寄附を受けたものでございます。このうち、心のまちづくり基金につきましては8件、20万400円、地域福祉基金につきましては4件、145万2,181円、文教の杜運営基金につきましては3件、17万8,800円の寄附がございました。

いただきました物件、金員等につきましては、寄附の目的に沿って活用させていただいておりますことをご報告申し上げますとともに、ご寄附くださいました皆様に対し厚く御礼を申し上げます。

以上、ご報告を申し上げます。

鈴木良雄議長 報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

鈴木良雄議長 質疑もないので、これで報告を終わります。

#### 日程第5 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて

鈴木良雄議長 次に、日程第5、報告第2号 専決処分の承認を求めることについて(平成16年度長井市一般会計補正予算第9号)の1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

目黒栄樹市長。

(目黒栄樹市長登壇)

目黒栄樹市長 報告第2号 専決処分の承認を求めることについてご説明申し上げます。

本案は、平成16年度長井市一般会計補正予算第9号につきまして専決処分をさせていただいたものでございます。

第1条の歳入歳出の補正でございますが、予算の総額に1,474万1,000円を追加いたしまして、予算の総額を歳入歳出それぞれ115億9,743万3,000円といたすものでございます。

このたびの補正は、1月24日に発生しました長井南中学校火災の災害復旧に関し所要の補正を行うものでございます。

よろしくご承認賜りますようお願いを申し上げます。

鈴木良雄議長 提案者の説明が終わりました。

これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

鈴木良雄議長 質疑もないので、質疑を終結し、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

鈴木良雄議長 ご意見もないので、討論を終結